

地球大接近の火星など天体観測をしながらイベント開催



7月31日、火星が地球に大接近するのになんで、火星を観測しながらさまざまな催しを楽しむイベント「超・火星まつり」が芦別温泉パークゴルフ場を会場に開催されました。

市内有志でつくる実行委員会とスターライトホテルが連携しての開催。会場では5台の天体望遠鏡を設置、パソコンを通してスクリーンに星空が

映し出され、アマチュア天文家が解説を行いました。午後8時過ぎに南東の空に見える火星を観測した来場者の中には、思わず歓声をあげる人もいました。

また、天体観測前には、浴衣撮影コンテストや女性歌手のライブが行われたほか、飲食・縁日コーナーなど多くの人が楽しんでいました。

キラキラ☆フェスタ 5,650人が訪れ、真夏の夜を楽しむ

8月4日、キラキラ☆フェスタあしべつ2018が、国設芦別スキー場特設会場で開催されました。当日は好天にも恵まれ、午後8時のグランドフィナーレ花火大会時には、市内外から約5,650人（主催者発表）が訪れました。

会場では、市内飲食店が露店を出店し、自慢の味を来場者に

販売。また、ステージでは恒例の「〇×クイズ」＝写真＝が行われ、子どもたちが楽しんだほか、芦別高校演劇部の公演、芦別市民吹奏楽団の演奏などが繰り広げられました。

フィナーレの花火では5,000発の花火とレーザー光線が夜空を彩り、訪れた観客は歓声をあげながら楽しんでいました。



女子バレーのJTマーヴェラスが10年連続10回目の芦別合宿を行う

女子バレーボールチーム「JTマーヴェラス」が、8月18日から28日まで芦別合宿を行いました。

同チームは、先の2017/18V・プレミアリーグでは惜しくも優勝を逃したものの、5月に行われた黒鷲旗全日本選抜大会では、2年ぶり5回目の優勝を果たしました。

今年で10年連続10回目となった今回の合宿には、吉原知子監督率いる選手12人とスタッフが参加。合宿初日の18日には、福祉センターでウェルカムパーティーが行われ＝写真＝、熱心なバレーボールファンが詰めかけるなか、吉原監督らがチーム強化の決意などを述べていました。



農業まつり 芦別産野菜の即売や焼肉など大盛況



第45回星の降る里農業まつりが、8月18日、北大通お祭り広場で開催されました。例年2日間開催されていましたが、今年は当日1日のみの開催となりました。

当日は、カボチャやメロン、ジャガイモなど芦別の代表的な農産物が販売され、大勢の人が買い求める姿

が見られたほか、芦別産米のふっくらんこ、ジャガイモやカボチャなど芦別産野菜の袋詰めの無料配布に長い行列ができました。

また、会場内では、炭火でジンギスカンやホルモンを楽しむコーナーも設けられ、終日にぎわっていました。